改訂版

2026年度用内容解説資料

“難関大入試に必要な「思考力」が身につく”をさらにバージョンアップ

例題集，解答編 付き

- 本編と同じサイズで収納しやすい「例題集」
- 丁寧で詳しい「解答編」

特長1 合否を分ける入試問題への対応

特長2 新時代の入試問題への対応

特長3 デジタルの充実

1「思考のプロセス」〜数学的思考力の土台をつくる

- **すべての例題**に，解決に至るまでの考え方 思考のプロセス を明示しました。
- 多くの例題に共通する数学的思考法を プロセスワード として挙げることで，生徒にそれらを意識させ，その後の問題解決において活用を促します。
- **既習例題との対比**や**試行錯誤の過程**などを**図解**で示すことで，生徒に強く印象づけます。

例題 107　区間内で定符号である２次式　D　★★★☆　サンプル

$-2 \leqq x \leqq 1$ を満たすすべての x について，2 次不等式 $x^2-2ax+a+2>0$ が成り立つような定数 a の値の範囲を求めよ。

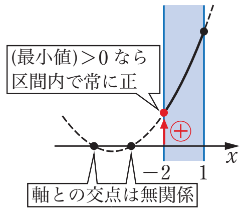
思考のプロセス

例題 105 と似ているが，条件が少し違う。

例題 105 …（区間のない）すべての x で　$f(x)>0$
例題 107 … $-2 \leqq x \leqq 1$ を満たす x で　$f(x)>0$
区間がある

条件の言い換え

条件
⟹ $-2 \leqq x \leqq 1$ において
（$y=$ ☐ のグラフ）が（x軸 $(y=0)$）より上側にある。
⟹（区間があるから，判別式だけでは考えられない）
$-2 \leqq x \leqq 1$ において $y=$ ☐ の最小値が正



Action» 区間内で常に $f(x)>0$ であるときは，最小値 >0 とせよ

解　$f(x)=x^2-2ax+a+2$ とおくと
$$f(x)=(x-a)^2-a^2+a+2$$
$-2 \leqq x \leqq 1$ を満たすすべての x に対して $f(x)>0$ となるための条件は，$-2 \leqq x \leqq 1$ における $f(x)$ の最小値 m が $m>0$ となることである。

◀ $y=f(x)$ のグラフは，軸が直線 $x=a$ の下に凸の放物線である。

▲ I＋A p.199

先生方の板書や指導の工夫などを参考に，その**解答を記述するための見通しを立てられるように構成**しています。
また，解法の指針を直接記述することは避けるようにしています。

プロセスワード の例

「条件の言い換え」，「既知の問題に帰着」，「具体的に考える」，「場合に分ける」，「候補を絞り込む」，…

プロセスワード で**思考法を整理**していきます。
例えば，「条件の言い換え」では，
本例題は２次関数の分野ですが，
分野を横断し，右のような様々な場面で
接する機会を設けています。

（「条件の言い換え」掲載例題の一例）

例題 36	$\sqrt{A^2}$ の計算	（数と式）
例題 49	命題の否定	（集合と論証）
例題 133	三角比を含む不等式〔1〕	（図形と計量）
例題 162	箱ひげ図からの読み取り	（データの分析）
例題 218	組合せと確率	（場合の数と確率）
例題 266	円に内接する四角形	（図形の性質）
例題 298	除法の性質〔1〕	（整数の性質）

⋮

条件の言い換え で串刺しして思考法をとらえる

New

改訂版では，節末問題「Let's Try!」や巻末問題「入試攻略」にも思考のプロセスを新設しました。（専用 WEB サイトに掲載）

- **難易度が高い節末・巻末問題だからこそ，**分からないときにすぐに解答を見るのではなく，**「思考のプロセス」で解決の見通しの立て方を習慣づける**絶好の機会です。

Let's Try! 11　▶▶解答編 p.255　思考のプロセス　サンプル

① △ABC の 3 つの内角 ∠A，∠B，∠C の大きさをそれぞれ A，B，C とするとき，$\sin A : \sin B : \sin C = 2:3:4$ であり，AB ＝ 2 とする。このとき，BC ＝ $\boxed{ア}$ であり，CA ＝ $\boxed{イ}$ である。$\cos A$，$\cos B$，$\cos C$ の値のうち最大値は $\boxed{ウ}$ であり，$\sin A$，$\sin B$，$\sin C$ の値のうちの最大値は $\boxed{エ}$ である。（関西学院大　改）
◀例題142，143

② 次の条件を満たすとき，△ABC はどのような三角形であるか。
(1) $\sin A + \cos A = 1$（宮城教育大）
(2) $\sin C(\cos A + \cos B) = \sin A + \sin B$（東京理科大　改）
◀例題147

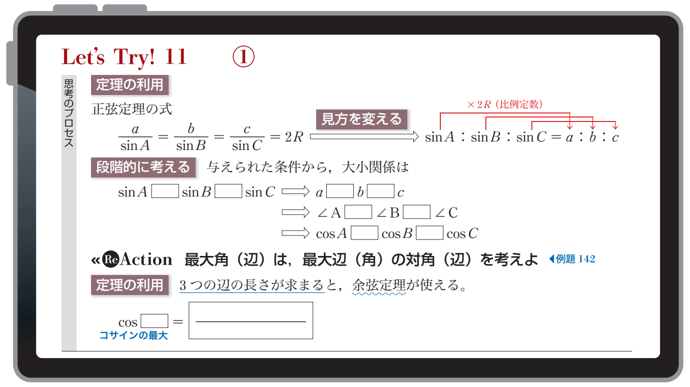
▲ I＋A p.295　Let's Try! 11

3章　２次関数　▶▶解答編 p.545　思考のプロセス　サンプル

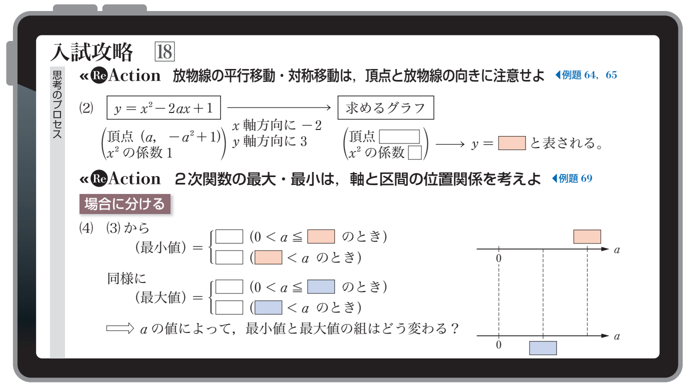
18　a を正の定数とする。関数 $y=x^2-2ax+1$ について，次の問に答えよ。
(1) この関数のグラフの頂点 P の座標を求めよ。
(2) この関数のグラフを x 軸方向に -2，y 軸方向に 3 だけ平行移動した放物線が原点 (0，0) を通るとき，a の値を求めよ。
(3) この関数の $0 \leqq x \leqq 2$ における最小値を求めよ。
(4) この関数の $0 \leqq x \leqq 2$ における最大値と最小値の和が 0 であるとき，a の値を求めよ。（東北学院大）

▲ I＋A p.633　入試攻略 3 章

二次元コードからアクセスできます。



▲アクションコンテンツサイト
思考のプロセス



▲アクションコンテンツサイト
思考のプロセス

デジタルのよさを生かし，
考え方をより豊富に載せました。

Point
思考のプロセス
掲載数 **＋200か所**
（旧本との比較）

思考力も，知識・技能も

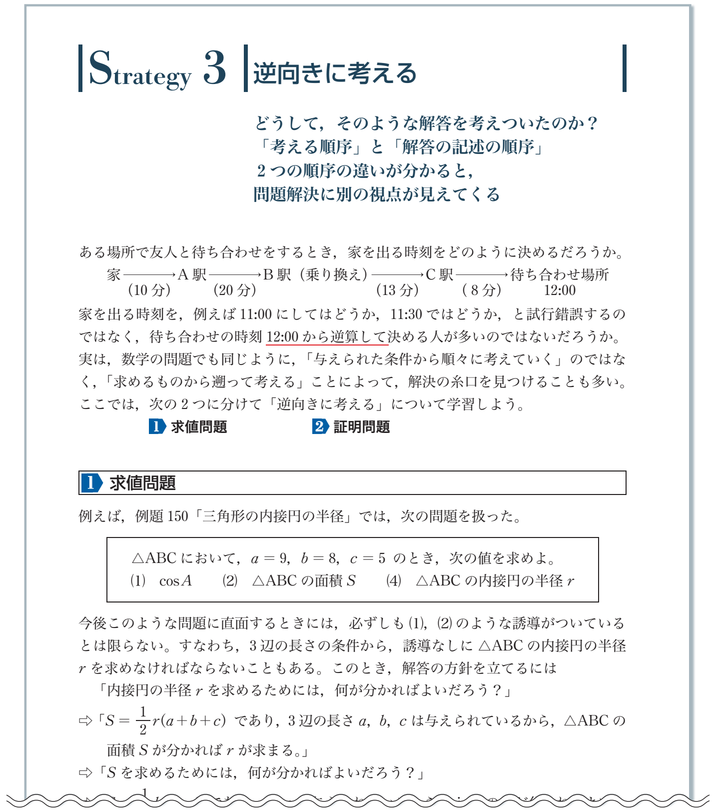
- 思考力だけでなく，知識・技能も重要です。だからこそ，本書では**本文や解答・解説の記述を丁寧**にしています。
- また，解法の急所となるポイントを Action として明示しているため，解答を模範解答例として，まずは問題が解けることに重点をおくことも可能です。

2「思考の戦略編」～分野を越えて効果的な思考法

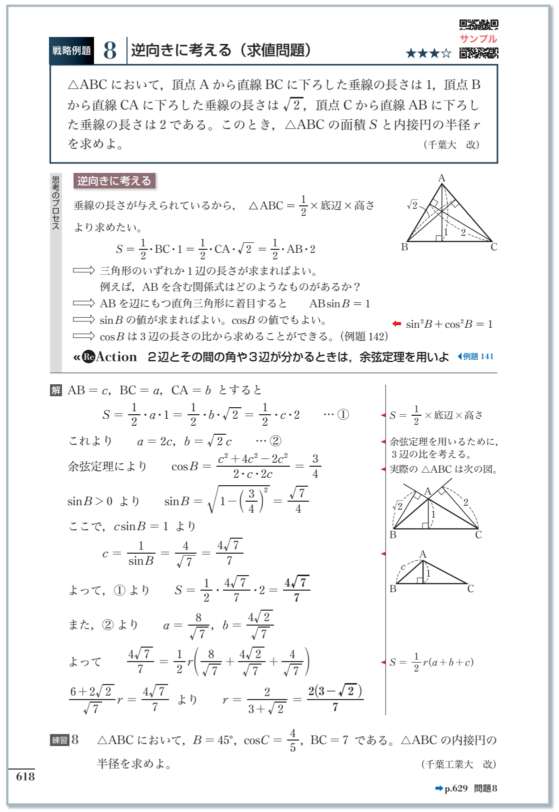
- 難関大の合否を分ける重要な考え方を解説した**「思考の戦略編」**を巻末に設けました。
- 本編の例題や プロセスワード と関連させて解説することで，**章の内容を超えた問題のつながり**を生徒に理解させるとともに，入試への対応力をさらに引き上げます。

そのテーマを日常の場面で説明することで，生徒にその思考法を認識させます。これらの Strategy は，数学はもちろん，他教科や日常生活でも使えます。

本編同様の丁寧な解説

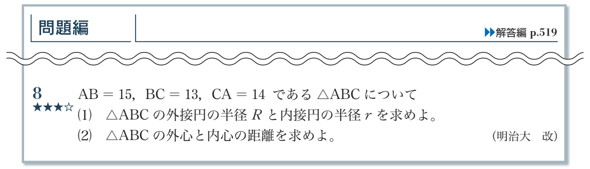


▲ I＋A p.616



▲ I＋A p.618

本編の例題を複数振り返り，様々な問題でその思考法が用いられてきたことを紹介します。



▲ I＋A p.629

戦略例題→練習→問題，と**本編と同じ構成**で，使いやすくなっています。
融合・総合問題としてもお使いになれます。

I＋A テーマ一覧

Strategy	例題番号	例題タイトル	難易度	プロセスワード
1 場合分け	1	式における場合分け	★★★☆	場合に分ける
	2	図形における場合分け	★★★☆	場合に分ける
	3	場合の数における場合分け	★★★☆	場合に分ける
	4	整数における場合分け(剰余類)	★★★★	問題の言い換え
2 動かす・固定する	5	グラフや範囲を動かす	★★★☆	場合に分ける
	6	定数を変数と見なす・変数を定数と見なす	★★★☆	既知の問題に帰着 見方を変える
	7	多変数関数	★★☆☆	見方を変える 前問の結果の利用
3 逆向きに考える	8	逆向きに考える(求値問題)	★★★☆	逆向きに考える
	9	逆向きに考える(証明問題)	★★★★	逆向きに考える
4 対称性	10	図形の対称性	★★★★	次元を下げる
	11	式の対称性	★★★★	既知の問題に帰着
	12	対称性の利用	★★★★	結論の言い換え
	13	対称性をくずす	★★★★	既知の問題に帰着

3「特講」～学習の選択と集中

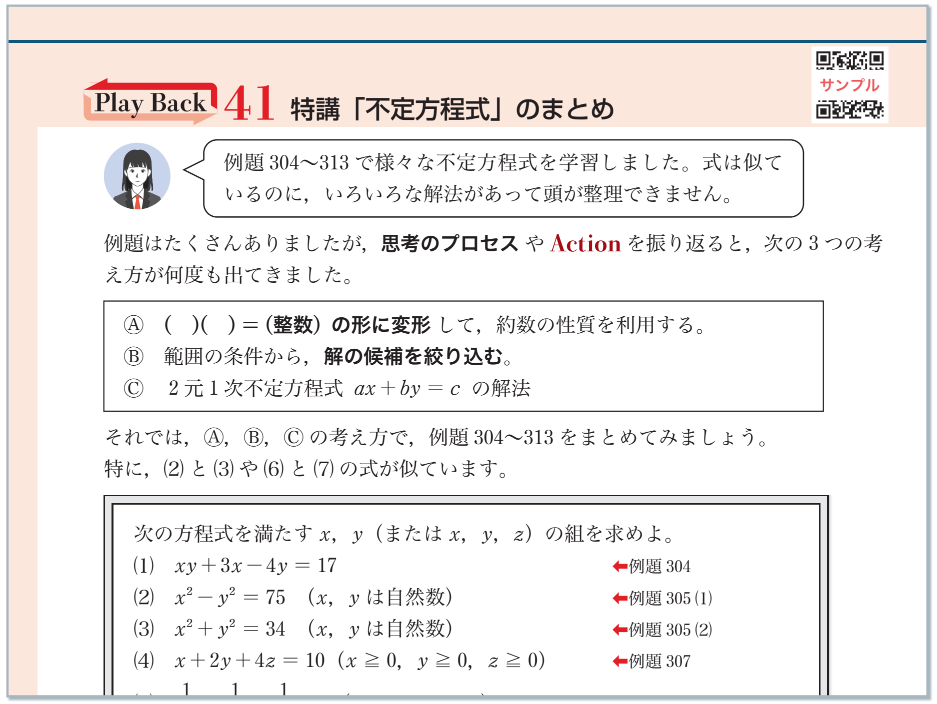
- 入試演習の重要テーマを**「特講」**としてまとめました。
- 生徒に学習の軽重を示し，入試演習の際にも集中して学習できます。

①対比する特講
式や条件は似ているが，解法が異なる問題を集め，解法を対比しながら解説することによって，定着を図ります。
例.「区間や軸に定数を含む最大・最小」(p.142 ～),「不定方程式」(p.574 ～) など

②集中する特講
教科書での扱いは薄いが重要なテーマを，定義などの説明と例題でまとめています。
例.「２次方程式の解の存在範囲」（p.202 ～），「ガウス記号」（p.221 ～）など

「特講」の一覧は，本編の目次ページ（p.2）をご覧ください。

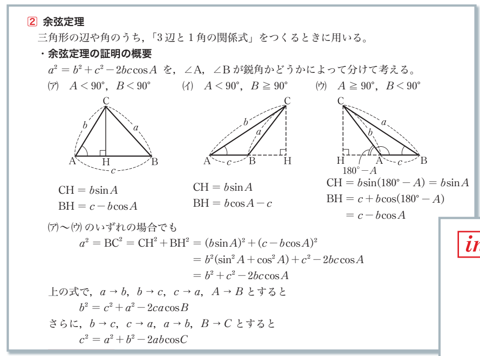
- 「特講のまとめ」では，それまでの例題の考え方を振り返り，**統合してまとめます。**



▲ I＋A p.586 特講「不定方程式」のまとめ

4「まとめ」～知りたい情報や伝えたい情報が豊富

- 「まとめ」に，基本事項をさらに深める**概要**を設けました。



▲ I＋A p.257

定理・公式の証明や**用語の説明**の大学入試での出題状況を information で紹介し，**証明の大切さ**を伝えるようにしました。

information
余弦定理を証明する問題は，京都教育大学（2007 年），福島大学（2009 年），上智大学（2012 年），愛媛大学（2015 年 AO），筑波大学（2019 年推薦），中部大学（2022 年）の入試で出題されている（福島大学，中部大学は鈍角三角形の場合のみ，愛媛大学は鋭角三角形の場合のみ）。

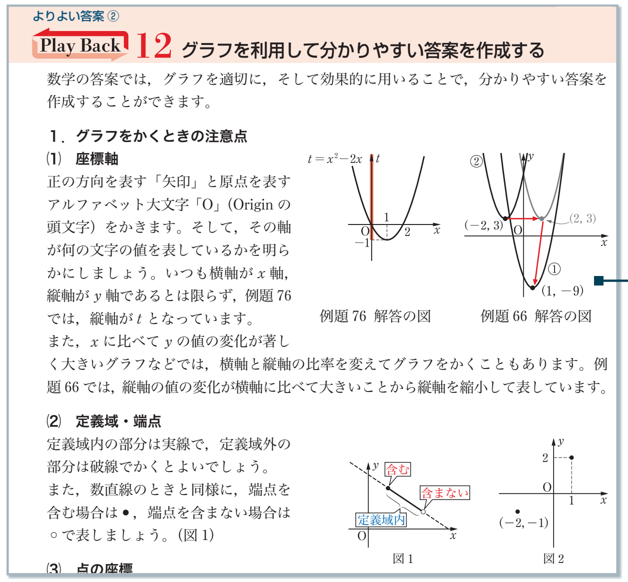
5「コラム」「よりよい答案」「探究例題」
～深め，繋げ，高める

- 「コラム」をさらに充実させました。
- 解法の比較，解法や性質の様々な見方，定理の別証明，性質の一般化といった題材を多数扱いました。

Point
コラム
掲載数 **＋12か所**
（旧本との比較）

- コラムは２種類あり，生徒の理解度に応じた主体的な学習ができます。
  Play Back …既習内容の理解を深めたり，例題間のつながりを整理したりするコラム
  Go Ahead …レベルの高い内容や解法を学習するコラム

「コラム」の一覧は，本編の目次ページ（p.3）をご覧ください。

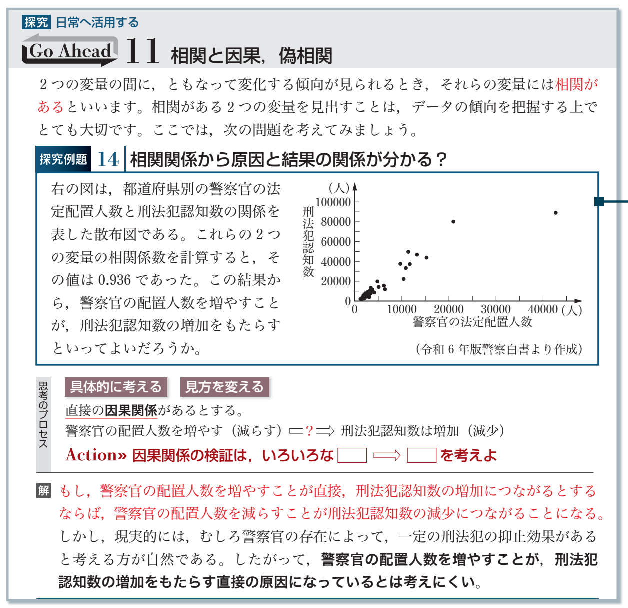


▲Ｉ＋Ａ p.154

New
「よりよい答案①～④」コラムを新設しました。
- 答案をかく上での基本的なポイント
- グラフの効果的な用い方
- 「思考のプロセス」と答案の関連

などを扱い，説得力のある答案をかく力を育てます。

巻末「答案作成で注意すること」「答案を振り返る」と合わせて活用すると，より効果的です。



▲Ｉ＋Ａ p.331

コラムの中で，見方・考え方をより広げられるものには，探究例題を設けました。本編の例題と同じように思考のプロセスも示しました。

読むコラム から 使うコラム へ

さらに

New
コラムの一部には，解説動画を設けました。自学自習でも理解が一層深められます。

6「本質を問う」～公式や解法の暗記からの限界突破

- 数学の急所をとらえ，理解の質を高める「本質を問う」を節末に設けました。
- 「定義を理解できているか」「なぜその性質が成り立つのか」「なぜその性質を利用するのか」を考えさせる，例題とは異なる形式にしました。
- 公式の暗記では解けない問題に取り組むことで，節の内容の理解をより確かなものにします。

本質を問う 3　▶▶解答編 p.54

1　$2 \geqq 1$，$1 \geqq 1$ はそれぞれ正しい不等式か。　◀p.62 概要1

▲Ｉ＋Ａ p.78「数と式」

3　次の式のうち，対称式，交代式であるものを選べ。また，その理由を説明せよ。
① $(x-y)z^2+(y-z)x^2+(z-x)y^2$
② $a(b-c)^2+b(c-a)^2+c(a-b)^2+8abc$
③ $(a+b)(b-c)(c-a)$
◀p.32 Point

▲Ｉ＋Ａ p.42「数と式」

1　「試行」とは何か説明せよ。また，「事象」とは何か説明せよ。　◀p.408 1

▲Ｉ＋Ａ p.423「場合の数と確率」

2　「２次不等式 $a(x-\alpha)(x-\beta)<0$ の解は，$\alpha<x<\beta$ である」は常に正しいかどうか述べよ。また，正しくない場合は，a，α，β についてどのような条件があるとき正しくなるか述べよ。　◀p.189 概要1

▲Ｉ＋Ａ p.228「２次関数」

2　(1)　ある変量 x と y の相関係数が 0.8 であるとき，このことのみから，x と y に正の強い相関関係があるといってよいか。
(2)　ある変量 x と y の相関係数がほぼ 0 であるとき，このことのみから，x と y は無関係であるといってよいか。　◀p.324 1

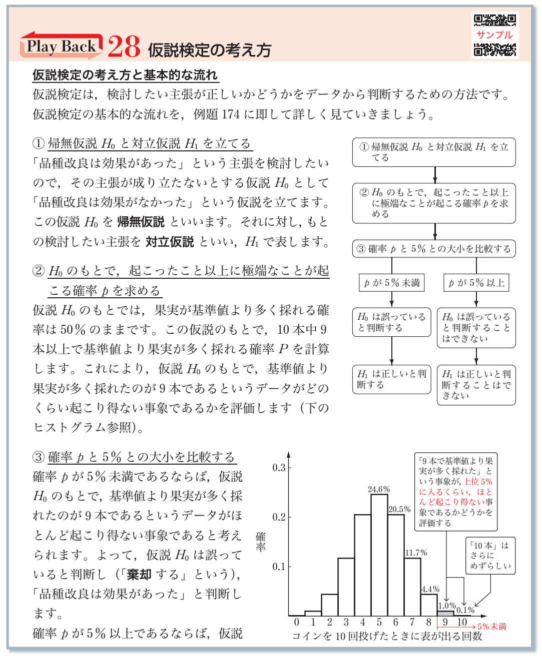
▲Ｉ＋Ａ p.344「データの分析」

新傾向の入試問題も意識しており，定期テストの問題のご参考にもしていただけます。

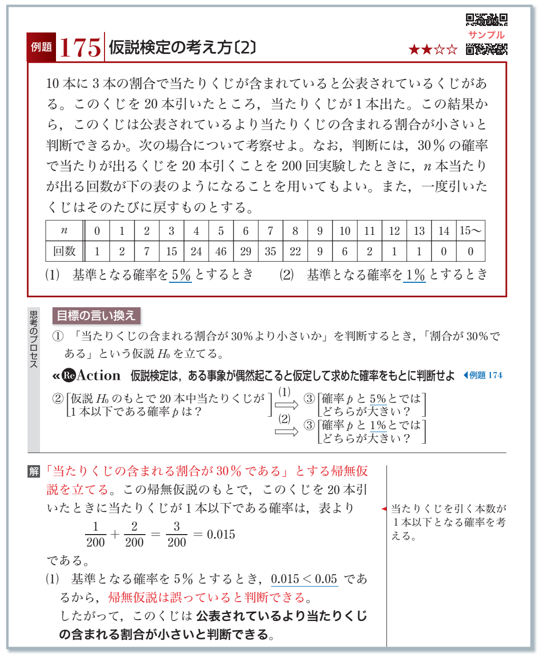
7 統計分野の充実 ～これなら生徒も理解できる

Pick Up

- 生徒が苦手とする統計分野の内容を充実させました。
- 特に統計的な推測は，数学が得意な生徒であっても，つまずきが見られます。
  そのため，数学Ｉ＋Ａでは，仮説検定の考え方を中心に充実を図り，共通テストへの万全な対策はもちろん，数学Ｂの統計にスムーズにつなげられるようにしました。



▲Ｉ＋Ａ p.339



▲Ｉ＋Ａ p.340

数学Ｉ＋Ａの「仮説検定の考え方」でこそ扱っておきたい内容を取り上げましたので，時間が足りない場合でも安心してお使いいただけます。

Pick Up

8「アクションコンテンツ」～生徒自ら考察を深める

- 生徒自身のタブレットやスマートフォンで，インターネット上のコンテンツをご利用できます。
- コンテンツが用意されている**各ページに二次元コード**があるので，**スムーズにアクセス**できます。

■主なコンテンツ

■解説動画

全例題（本文の例題，巻末の戦略例題）はもちろん，**コラム**の一部に**解説動画**をご用意しました。

解説アニメーションもあります。

■デジタルコンテンツ D

シミュレーションコンテンツを通して，**視覚的に理解**できます。

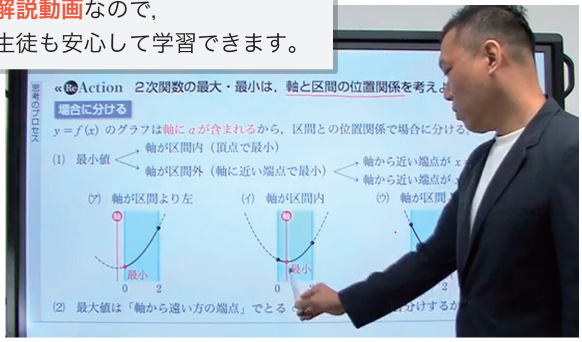
■思考のプロセス

節末「Let's Try!」や巻末「入試攻略」の全問題の**思考のプロセス**をご覧になれます。（→パンフレット p.3）

■デジタル公式集

重要公式についてまとめ，その証明についても載せました。**定理の証明問題への対策**としても利用できます。

講師が画面に登場するタイプの解説動画なので，生徒も安心して学習できます。

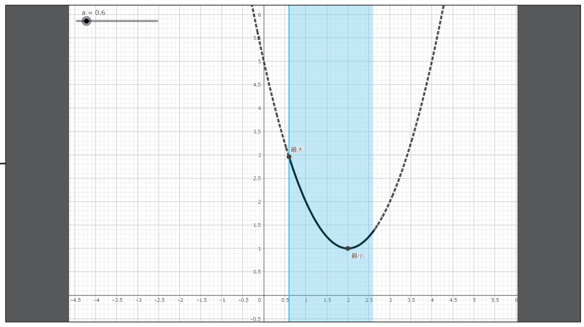


▲「2 次関数の最大・最小〔3〕…軸に定数を含む」Ⅰ＋A p.142

Point

解説動画数 **約2.7倍**

改訂版 346 点(予定) ⬅ 旧本 130 点



▲「2 次関数の最大・最小〔5〕…区間に定数を含む（2）」Ⅰ＋A p.148

● 問題数

	Ⅰ＋A
例題・練習・問題	各 319 題
探究例題（コラム）	24 題
チャレンジ（コラム）	16 題
本質を問う	69 題
Let's Try!	117 題
思考の戦略編　例題・練習・問題	各 13 題
入試攻略	80 題
合計	1,302 題

● 教師用データ

紙面データ（PDF），演習ノートデータ（Word，PDF），問題・解答のデータ（Word）などを弊社 Web サイトからダウンロードしてご利用いただけます。

コード	教材名	判型	頁数	色数	本体価格	定価(税込)	付属品
38244	改訂版 NEW ACTION LEGEND　数学Ⅰ＋A 改訂	A5	676	3	2,136	2,350	解答編（608 頁）

NEW ACTION LEGEND シリーズの Libry 版 販売予定！

東京書籍
高校教育部　〒114-8524　東京都北区堀船 2-17-1
Tel：03-5390-7320　Fax：03-5390-7520
ホームページ　https://www.tokyo-shoseki.co.jp
東書Ｅネット　https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

A6954